



学校だより

郡山市立海老根小学校
第17号
令和7年9月18日(木)
文責:校長 宗像善吉



品竹悦子先生によるお話会

9月9日(火)は品竹悦子先生をお招きし、お話会を行いました。品竹先生には、毎年民話や手遊びなどをお話しいただいたり教えていただいたりしています。今年は、「古内稲荷」「黒木の桂蔵寺」にまつわる民話、「白いワンピース」「海老根の紙漉き」の話をお話を約1時間半に渡ってお話いただきました。



日本三大稲荷に数えられる宮城県岩沼市の竹駒稲荷は、もともと海老根地区にある古内の館にあって岩沼市に移されたこと、隣の御館地区の黒木にある桂蔵寺には、聖徳太子のお墓があり、それにまつわるお話も聞かせていただきました。また、戦後80年の今年、郡山空襲の時に起きた悲しいお話「白いワンピース」、昔海、老根地区で生業の一つとして行われていて、復活した「海老根和紙漉き」のお話も聞かせていただきました。特に「白いワンピース」は、戦争がもたらした悲劇であり、心を揺さぶられる内容でした。いま世界中で争いが絶えません。NHKの朝ドラ「あんぱん」に出てくる「逆転しない正義」はないものか、それがあれば戦争が起こらないのにと改めて、深く感じました。



「海老根の紙漉き」の話は、10月末に行われる海老根フェスティバルで披露することになっています。この話は、海老根和紙が引き継がれるように後世にも語り継がれてほしいと思います。どうぞご期待ください。

第23回 秋 虫

14日(日)には第23回「秋虫」が開かれました。初日はあいにく天候が安定せずオープニングセレモニーも中止となりましたが、14日は、夕焼けがみられる素晴らしい天気になりました。午後6時から行われた宮城中の生徒のハンドベルの演奏は、暗くなっていくにつれて、浮か



び上がる灯籠と一体になって周りの雰囲気盛り上げてくれました。心にしみる素晴らしい演奏でした。

会場には、本校の作品21作品をはじめ多くの作品が出品されていました。里山に広がる海老根和紙で作られた灯籠の光の帯は、秋の到来を感じさせる幻想的な風景でした。

PTA 役員会

お話会が行われた9日は、午後7時からPTA役員会が校長室で開かれました。当日は、「親子学年行事」「1日自由参観デー」「校内マラソン大会」について担当から説明がありました。校長からは、令和9年度4月1日の緑ヶ丘第一小との統合に関連して、8月末に配付したアンケート、現6年生の緑ヶ丘中転校時の制服、来年度海老根小入学児童の運動着について、現在伝えられる範囲で話をしました。また、老朽化の激しい本校プールの来年度の使用について、宮城小プールの活用の代案についても説明をしました。宮城小プールの活用については、本校児童の気持ちも大切に決めてこととしました。その後、4・5年生児童に担任が意見を聞いたところ「最後まで海老根小のプールで学習したい」「新入生に海老根小のプールで泳ぎを教えてあげたい」などの意見が出て、全員が来年度も海老根小プールで水泳学習を希望しましたので、来年度も本校プールを活用して水泳学習を進めていく予定です。



お弁当の日

当の日は3回あります。次は19日(金)、26日(金)がお弁当になります。よろしくお祈りいたします。



